

産学連携プロジェクト

IOG の産学連携プロジェクトは、企業とともに研究成果の社会実装を目指す「個別共同研究」、ジェロントロジーの8つの分野を学ぶ「アカデミー」参加企業と IOG との交流を目的とした「ネットワーク」の3層構造になっています。企業から出向している方々のコメントを通して、プロジェクトがもたらす価値や今後の取り組みについてお伝えします。

ジェロントロジー産学連携プロジェクトの活動内容	70
ジェロントロジー産学連携プロジェクト 参加企業.....	72
産学連携プロジェクトの活動実績	73

Individual research project

ジェロントロジー産学連携プロジェクトの活動内容

ジェロントロジー産学連携プロジェクトは、集い・共有する「ジェロントロジー・ネットワーク」、体系的な学び・総合知で深掘りする「ジェロントロジー・アカデミー」、新たな事業開発につなげる「個別共同研究」の3層構造で成り立っています。

メンバーが集い・共有するジェロントロジー・ネットワーク

ジェロントロジー・ネットワークは、参加企業とIOGの交流やメンバー同士の討論を通じて、超高齢社会と向き合っていくかを学ぶ場です。最新のトピックスやアカデミーの研究など、さまざまな情報をキャッチアップしながら自由な討論や意見交換を行い、共有することにより、各企業がどのように自社の強みを生かすべきかを考えます。

2024 年度に行った産学交流機会：サロンのディスカッションテーマ

*ハイブリッド開催を含む

1) 豊かな健康を個と地域のウェルビーイングから考える

IOG 機構長の掲げた次の4つのビジョンを元に議論する

- ・住民主体の活力のあるまちづくり（生きがいづくり、ウェルビーイング）
- ・誰ひとり取り残さない（地域共生社会、誰でも仲間〔障害者、社会的弱者含む〕）
- ・いつまでも元気で（弱らせない、健康長寿、地域貢献）
- ・弱っても安心して住み続けられる（地域包括ケア、在宅医療介護連携、介護 DX）

2) ライフデザイン

主な討論テーマ

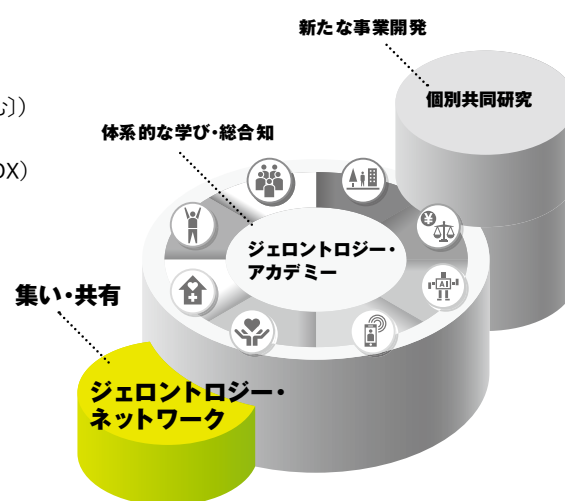
- ・若い世代の人生 100 年ライフデザインとは
- ・わくわく、楽しく豊かな人生、のための「もの・こと」、人脈づくり
- ・長寿社会を豊かにする AI 活用
- ・社会貢献とは

3) 移動分科会サロン

- ・温故知新で移動社会をデザイン
- ・宇都宮 LRT 試乗と地域交通・結接点の重要性とまちづくり
- ・ユーザーオリエンティッドな未来の地域交通とまちづくり

4) 企業と教員紹介&雑談交流サロン

- ・企業活動紹介 12 社
- ・雑談会 「しあわせと心のフレイル予防について」
「混合介護保険外サービス懇話会」



レクチャーとグループワークを共同研究に繋げるジェロントロジー・アカデミー

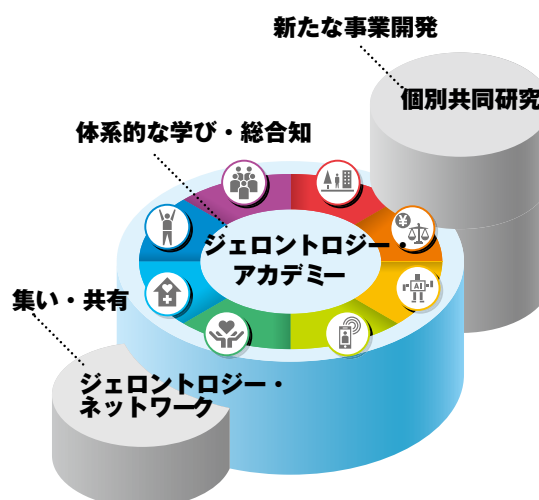
ジェロントロジー・アカデミーは、2020 年度からスタートしたジェロントロジー産学連携プロジェクトの中心として位置付けられている活動です。ジェロントロジー・アカデミーでは、8つの領域からテーマを設定し、関連する講演や話題提供を行うレクチャーと、自分事とするためのグループワークの二つの構成で進めています。

アカデミー参加企業は、アカデミーのカリキュラム（前期・後期）、各種研究会、ジェロネットの活動に参加できます。

さらに、アカデミーで学ぶ中で社会実装に向けてテーマを絞り込み、各研究会の立ち上げ、活動をスタートしています。

■ 2024 年度の研究会

- ・高齢者就労研究準備会
- ・食の在り方研究会
- ・オーラルフレイル予防研究会
- ・金融関連および法研究会 勉強会
- ・まちづくり標準化研究会



高齢者地域就労の仕組みの開発



高齢者就労と生涯現役社会の実現への社会的課題解決に向けたロードマップ作成を目指します。生涯現役社会の新しい働き方を開拓するための具体策について議論します。

フレイル予防産業の創出



東大IOGのエビデンスの蓄積と産学連携の先進事例を学び、各社の強みを生かして国民に向けた啓発を強化し、幅広いフレイル予防産業を展開するための方策を探りながら、健康長寿社会の実現を目指します。

生活支援産業の創生



社会的な需要が高まる高齢者の生活支援サービスのビジネスモデル創出における課題を明らかにし、解決のためのアイデアを具体化します。

地域包括ケアシステムを支える民間事業開発



高齢者が最後まで自分らしい人生を送るために、フレイルの段階に合わせたサービスを地域のインフラとして提供できる地域包括ケアシステムを展望します。



高齢者地域就労の仕組みの開発



住宅地再生の標準化



金融関連および法



老朽化、空き家が問題となっている住宅地を「持続性をもつ住宅、住宅地」に変えるため、フィールド研究や地域課題共有から産官学民で解決の道を探り出します。



人生100年時代の高齢期には、金融と法に関する継続的かつ包括的な支援体制が不可欠です。成年後見、信託、リバースモーゲージ等を用いた、見守りと生活支援の新しいあり方を構想します。



生きがいある自立・自律生活を支え、高齢期のマイナスをプラスに転換する技術やシステムを探求し、経済と生きがいを両立するICTやロボット活用を学びます。



高齢者の「暮らす・繋がる・働く」などの行動を支えるために、ICTを用いた情報システムが果たすべき産官学民の役割について議論します。

共同研究 8つの領域

IOGでの学び・研究を未来の事業に活かしたい企業向けステージ

ジェロントロジー・アカデミー

社会実装と新たな事業開発につなげる個別共同研究

共同研究として、個別の研究課題に取り組み、社会実装を目指します。東京大学への派遣・出向も行い、パートナーシップで課題解決、新たなビジネスモデル創出、そして政策提言も行います（派遣・出向を行う個別共同研究プロジェクト紹介：→P77～82）

個別共同研究参加企業は、アカデミー・ネットワークを含む産学連携プロジェクトのすべての活動に参加できます。

産学連携プロジェクトの詳細はホームページでも紹介しています。

▶ <https://www.iog.u-tokyo.ac.jp/collaboration/>



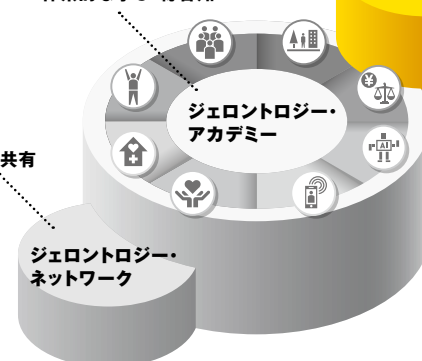
▲パンフレット

新たな事業開発

個別共同研究

体系的な学び・総合知

集い・共有



参加企業

2024 年度

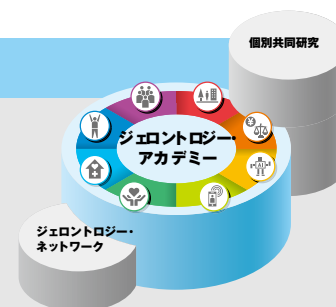
個別共同研究・寄付プロジェクト

イオン株式会社	株式会社ニッスイ
伊藤ハム株式会社	株式会社ニッセイ基礎研究所
株式会社ウェルモ	日本コカ・コーラ株式会社
キューピー株式会社	日本生命保険相互会社
一般財団法人高齢者住宅財団	日本電気株式会社 (NEC)
サンスター株式会社	株式会社ノバケア
株式会社住協	ハウス食品グループ本社株式会社
相鉄不動産株式会社	はごろもフーズ株式会社
大和ハウス工業株式会社	株式会社長谷工コーポレーション
株式会社タニタ	株式会社フードケア
東急株式会社	フジッコ株式会社
株式会社東急不動産 R&D センター	株式会社ヘルシーパス
常盤薬品工業株式会社	株式会社マルタマフーズ
株式会社ニチレイフーズ	ミサワホーム株式会社
日清オイリオグループ株式会社	株式会社明治
	株式会社ロッテ



ジェロントロジー・アカデミー

株式会社うえるねす	社会福祉法人 浪速松楓会
株式会社オートテックジャパン	一般社団法人日本セルフケア研究会
株式会社かんぽ生命保険	三井住友信託銀行株式会社
株式会社 JTB	株式会社りらいぶ
SOMPO インスティテュート・プラス株式会社	
独立行政法人都市再生機構 (UR 都市機構)	



ジェロントロジー・ネットワーク

旭化成ホームズ株式会社	株式会社小学館
アフラック生命保険株式会社	スズキ株式会社
株式会社アンカー	住友生命保険相互会社
ICONA DESIGN GROUP JAPAN 株式会社	TOPPAN 株式会社
株式会社 Enri	株式会社長谷工総合研究所
キッコーマン株式会社	パナソニックホールディングス株式会社
株式会社クリニコ	パラマウントベッド株式会社
有限会社げんごろう (言語朗)	有限会社ホリホック
社会福祉法人ことぶき会	ヤマハ発動機株式会社
株式会社坂井電機	株式会社 Rehab for JAPAN
株式会社 JVC ケンウッド・デザイン	株式会社ルネサンス
株式会社ジェイテクト	



2024 年度ジェロントロジー産学連携プロジェクトの活動方針

- ・2020 年度のスタートから3年間フェイズ1 が終了し、次のフェイズ2 の3 年間の中間の年度の位置づけとなり、最終年度の2025 年度に何かしらの成果を残すことを意識した活動を行う。
 - ・まずは参加企業内での「フレイル・フレイル予防」の認知度 UP (内部固め)
 - ・参加企業を中心に賛同する企業を増やす(拡大戦略)
 - ・8 つのテーマを総合的に組み立てて、目指すべき社会を創造する
- <共同研究>・8 つのテーマのうち、具体的な方向性が見えてきたテーマ
(フレイル予防、高齢者地域就労、まちづくり、金融関連及び法)を更に進化させる。
- ・各研究会の活動(社会実装等)の方向性が見えてきた段階で、それを推進する企業集団を組織化する。
- <アカデミー>・8 つのテーマをそれぞれ単独ではなく、関連するテーマを組み合わせた立体的なアカデミーを実施する。
- <サロン>・従来の定例的なサロンに加えて、交流を意図した随時開催のサロンを増やす。
- <その他>・事業地視察会、ワークショップ、全体ミーティングなどをリアルで開催し、学びと交流を図る。
- ・基礎的な学びの場として GLAFS の講義への積極的な参加を促す。

活動実績

2024年度	全体ミーティング	アカデミー	サロン
4 月	ジェロントロジー産学連携プロジェクト2024 開講式 ◇基調講演:「美味しい、楽しい、ワクワク」を担う産業の重要性 江崎 禎英(社会政策課題研究所) ◇講演:「東京大学 IOG 産学連携の目指すところ」～最新のフレイル予防の動向を踏まえて～ 飯島 勝矢(東京大学) ◇IOG教員(3名)の各研究テーマの紹介「新たな産学連携共同研究を目指して」 ◇IOG 産学連携プロジェクト2024の活動 ◇総合討論		豊かな健康を個と地域のウェルビーイングから考えるサロン ◇対話テーマ:「自立支援に幅広く貢献できるかわり(製品・サービス)の実現に向けて!」 ライフデザインサロン ◇対話テーマ:「若い世代が描く人生100年のライフデザインイメージ」について 企業雑談交流活動 ◇しあわせと心のフレイル予防について
5 月		アカデミー 第1回「8つのテーマの課題解決で実現する社会」 ◇報告:8つのテーマで学んだこと 事務局 ◇総合討論:テーマ「8つのテーマの課題解決で実現できる社会とは」 第1部 あるべき社会、あって欲しい社会とは 第2部 そのためになすべきことは何か ◇総評「目指すべき方向と産業界への期待」 辻 哲夫(東京大学)	ライフデザインサロン ◇対話テーマ:「高齢になってもわくわくする「モノ・コト」は何だろう?」について
6 月		アカデミー 第2回「フレイル予防」と「高齢者地域就労」 ◇問題提起 ・企業と高齢者就労に関する論点整理 前田 展弘(東京大学 IOG) ・高齢者就労とフレイル予防の新たな知見 飯島 勝矢(東京大学) ◇各社紹介 ・東急バスの取組 古川 卓(東急バス) ・東急リゾート&ステイの取組 平尾 祥二郎(東急リゾート&ステイ) ◇パネルディスカッション テーマ「フレイル予防」と「高齢者地域就労」を企業の中で実現するには アカデミー 第3回「フレイル予防」と「まちづくり」 ◇問題提起 ・郊外住宅団地の課題とフレイル予防 田中 康夫(東京大学) ・フレイル予防とまちづくりの活動(神奈川県三浦半島における拠点づくり構想について) 成田 慎一(かながわ福祉サービス振興会) ・企業目線でのまちづくりと住民パワーの結集 石塚 禎幸(ミサワホーム) ◇取組の事例紹介 ・平塚市のフレイル予防啓発活動 佐藤 麻美(東京大学 IOG/平塚市からの出向) ・池子住民協議会の取組(逗子市) 中川 隆(池子住民協議会) ◇総合討論 テーマ 元気なまちづくりは住民のフレイル予防活動から～そして産業界の役割は～	豊かな健康を個と地域のウェルビーイングから考えるサロン ◇対話テーマ:介護エコシステムの構築に向けて「産学官連携による高齢者とそのご家族への支援のあり方について考える!」 ライフデザインサロン ◇対話テーマ:「これがあるので人生が楽しく豊かになると思っているもの」について 企業雑談交流活動 ◇しあわせと心のフレイル予防について

※個別研究会は各々開催



ライフデザインサロン 4 月 学生との対話風



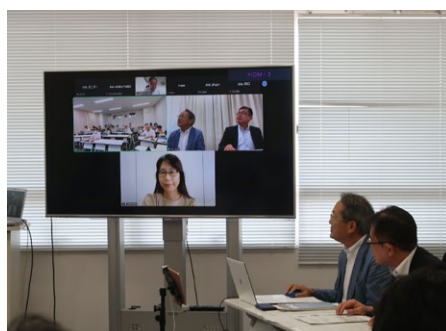
開講式 4 月 会場風景



企業雑談交流活動 6 月 心のフレイル予防

2024年度	全体ミーティング	アカデミー	サロン
7月	事業地視察会 関西事業視察会 ◇目的：ジェロントロジー産学連携プロジェクトでの座学とともに実際の現場での最新事例などを視察することで、高齢社会の課題についてより理解を深め、課題解決を図ることを目的とする。 ◇視察先 ・奈良県生駒市の取組 フレイル予防活動、まちのえき、いこま市民パワー㈱ ・浪速松楓会(大阪市)の取組 ライフェル駒川(サ付き)、駒川でっとう(地域貢献事業) ・枚方信用金庫の取組 巡りずみの取組、ひらしん健康ステーション	アカデミー 第4回「まちづくり」と「高齢者地域就労」 ◇問題提起 ・持続可能な郊外住宅地のまちづくり～その主役は住民に移行された地域再生法の改正の意味について～ 田中 康夫(東京大学) ・高齢者の社会参加と地域人材に関する論点整理 前田 展弘(東京大学 IOG) ◇活動事例報告 ・生駒市の取組紹介 田中 明美(生駒市) ・住民参加のまちづくり取組の事例紹介 こま武蔵台での活動 柳沢 弘二(げんきネット武蔵台) 八王子めじろ台での活動 中村 修(めじろ台地区まちづくり協議会) ◇総合討論 テーマ「次世代への橋渡し」～シニアパワーをどうまちづくりに活かすか～ 人材発掘、意識改革、生きがい創造、等の取組 アカデミー 第5回「生活支援」と「フレイル予防」を「情報システム」で解決 ◇＜問題提起・話題提供＞ ・フレイル予防推進会議に向けてのねらい ～産官学民の連携の重要性～ 辻 哲夫(東京大学) ・日常生活圏におけるソーシャルキャピタルの重要性 ～地域包括ケア(まちづくり)基本概念を主眼において～ 神谷 哲朗(東京大学) 蒔野 充昭(東京大学 IOG/ 日本年金機構からの出向) ・これからのまちづくりに期待される情報システムとは ～AI の活用等地域ソーシャルキャピタルづくりに期待されること～ 広瀬 通孝(東京大学) ◇テーマ：『生活圏域ソーシャルキャピタル充足に向けて、あなたの会社として何ができるか』 視点1 官民連携に向けて、民間側からの新たな提案は？ 視点2 地域に貢献できる商品やサービスは？ 視点3 リビングラボは必要か？	ライフデザインサロン ◇対話テーマ：「あなたが豊かになれると思っているコトやモノは、何ですか？それは、いつからはじめますか？」 移動分科会 ◇対話テーマ：温故知新で移動社会をデザイン 企業雑談交流活動 ◇しあわせと心のフレイル予防について
8月		アカデミー 第6回「フレイル予防」と「金融関連及び法」 ◇問題提起 ・「Advance Life Planning 調査」で見えてきた高齢者の財産管理の困りごと SOMPO インスティテュート・プラス ◇話題提供 ・高齢社会対策大綱(最新版) ～ウェルビーイング向上を目指して～ 飯島 勝矢(東京大学) ・「老い支度」の事例 高齢者の住宅資産循環を考える委員会の活動について 吉田 肇(ミサワホーム) ・東大が考える認知症対応 いつまでも自分らしく活動できる社会を目指して ALP の活用で社会を変える 三井住友信託銀行 ◇総合討論 テーマ『シニアのウェルビーイングが実現できる社会とは？』	豊かな健康を個と地域のウェルビーイングから考えるサロン ◇対話テーマ：話すことが人と繋がる第一歩。社会に参加・貢献してみるのはどうですか？<やる気&やりたい気持ち>を集め、種々さまざまなコミュニティの創生によるフレイル予防活動について考えてみる！> 企業紹介交流サロン セッション1 6社<第二の人生を豊かにするための積極性を促すコミュニティづくりに向けて・混合介護など保険外などの豊かなサービス選択の普及に向けて・住まいあり方やくらしを支えるサービスによるシニアの健康寿命延伸に向けて・高齢者とそのご家族への支援視点による介護エコシステムの構築に向けて・>フレイル予防や介護予防による充実したシニアライフデザインに向けて・リライブウェアで高齢者の健康寿命延伸の実現に向けて> 企業紹介交流サロン セッション2 6社：<高齢社会における最適化デザインの実現に向けて・未来社会を豊かにする新たな価値創造とサービス提供支援に向けて・心身の健康づくりのトータルサポートによる人生100年代のいきいきに向けて・モビリティと人のパートナーシップにより取り残されそうな社会課題の解決に向けて・認知症治療、予防の自由診療によるフレイル予防のアプローチに向けて・文化芸術・クリエイティブ X 多世代」による「彩りある人生&多様性を認め合う社会」の実現に向けて> 企業雑談交流活動 ◇しあわせと心のフレイル予防について ◇混合介護 保険外サービス懇話会

※個別研究会は各々開催

アカデミー 6月
「フレイル予防とまちづくり」事例紹介風景アカデミー 7月
「まちづくりと高齢者地域就労」オンライン参加風景企業雑談交流活動 8月
心のフレイル予防 武蔵野大訪問

2024年度	全体ミーティング	アカデミー	サロン
9月	2 DAY Workshop 「テーマ：産官学で考えるウェルビーイングを実現する社会」 【Day 1】 ■開催にあたり 飯島 勝矢（東京大学） ■セッション1 あなたにとってウェルビーイングとは（自分事） ウェルビーイングの概念を学ぶ（※ウェルビーイングカードを活用） 1-1：ウェルビーイングカードの紹介 自身や周囲の人々のウェルビーイングに意識を向け、対話をうながすツールとして開発 https://socialwellbeing.ilab.ntt.co.jp/tool_measure_wellbeingcard.html 1-2：ワークショップ 自分のウェルビーイングカードをもとに交流（意見交換）をしてみよう（Well-being 研究プロジェクト）：深山 篤、橋本 遼（NTT 社会情報研究所） 1-3：講演：わたしたちのウェルビーイングに関する実践と探求 ウェルビーイング・コンピテンシーについて 渡邊 淳司（NTT コミュニケーション科学基礎研究所） ■セッション2 あなたの企業活動をウェルビーイングの視点で考える（企業目線） 2-1：企業発表 自社でのウェルビーイングの取り組み 対従業員、対ユーザー（顧客、会員、取引企業など） 2-2：意見交換 【Day2】 ■セッション3 有識者からウェルビーイングを学ぶ 3-1：IOG が目指すウェルビーイングの取組 田中 友規（東京大学） 3-2：いま何故ウェルビーイングなのか 菅原 育子（武蔵野大学） ■セッション4 総合討論（その1） 国民すべてがウェルビーイングを感じることが出来る社会とはどんな社会なのか ■セッション5 総合討論（その2） それの社会を実現するために産業界、学術界（東大）の役割とは	上期総括会 ◇サロン・アカデミー等の活動報告 ◇各共同研究からの報告 その1 ・フレイル予防のポピュレーションアプローチの普及に向けて フレイル予防推進会議の活動 食の在り方研究会の活動 参加企業を中心とした産業界の動き（現在、今後） オーラルフレイルの新たな定義の普及に向けて ・高齢者地域就労生涯現役研究会勉強会 ・金融関連及び法研究準備会 2024年度調査事業並びに2025年度に向けての活動について ・まちづくり標準化研究会 「郊外住宅団地再生検討委員会」の活動の紹介と今後の活動について ◇その他の研究会等の活動について その2 ・地域包括ケアシステムの構築 辻哲夫（東京大学） 「在宅医療」（中央法規出版）の発行に向けて ・東大 IOG ウェルビーイングの研究について 田中 友規（東京大学） ◇総合討論	ライフデザインサロン ◇対話テーマ：「気になる世の中の出来事・変化から未来を考えてみる」 企業雑談交流活動 ◇しあわせと心のフレイル予防について
10月	栄養とからだの健康増進調査柏スタディ 2024		ライフデザインサロン ◇対話テーマ：「長寿社会の人生を豊かにする AI 活用」について 豊かな健康を個と地域のウェルビーイングから考えるサロン ◇対話テーマ：地域性を生かして自由な時間と空間を大切にげんきに生きる力を育む大切さとは「自立支援と幅広いサポートから多様なコミュニティと豊かな予防を考えてみる！」
11月			移動分科会サロン ◇活動テーマ：宇都宮 LRT 試乗と地域交通・結接点の重要性とまちづくり
12月		アカデミー 第7回「まちづくり」と「金融関連及び法」 ◇問題提起 ・持続可能な住宅団地のために 住民主体のまちづくり、シニアの住宅資産循環対策 ・シニア層の Well-Being 実現のために 本人、家族によるALPの作成と活用 ◇パネルディスカッション テーマ『多世代循環：果たして理想の多世代循環とは何か』 ファシリテーター 田中 康夫（東京大学） パネラー ＊次世代メンバー2名 神保 哲太（こま武蔵台住民） 加藤 達也（オースタンシニア DX） ＊シニア世代2名 藤村 孝一（ディレクトフォース） 東海林 節男（うえるねす） ＊地域活性化活動 松尾 まよか（日高市元市議会） ＊地方自治体 吉村 佑生（東京大学 IOG/ 呉市からの出向） ◇総合討論 テーマ『わかつちやいれど、進まない、「高齢社会対策」どうする?』 アカデミー 第8回「高齢者地域就労」と「金融関連及び法」 ◇レクチャー・話題提供 ・「臨床心理学の観点から見た「高齢者のウェルビーイング」について」 樋山 雅美（京都府立医科大学） ・「歳を重ねて、楽しみがある人生に。」 加藤 達也（オースタンス） ・「シニアの経済環境の実態把握」 前田 展弘（東京大学 IOG） ◇ 総合討論 テーマ『シニア世代に楽しくお金を使ってもらいましょう』～ 自分のウェルビーイング向上のため、いかに楽しく、気持ちよくお金を使っていたら皆さんと一緒に考えていきたいと思います。	豊かな健康を個と地域のウェルビーイングから考えるサロン ◇対話テーマ：健康長寿を、よりよく生きるしあわせについて考えてみませんか？～ Well-being の視点から健康な活動や社会での活躍。そして、豊かさでフレイル予防について考え語りあいましょう～ ライフデザインサロン ◇対話テーマ：「人生の谷にわたったとき、どのように復活しているのか」について 企業雑談交流活動 ◇しあわせと心のフレイル予防について

※個別研究会は各々開催

豊かな健康を個と地域のウェルビーイングから考える
サロン 8月 オンライン参加者との対話風景移動分科会 11月
宇都宮 LRT 現地視察調査風景ライフデザインサロン 12月
グループワーク風景

2024年度	全体ミーティング	アカデミー	サロン
1月		アカデミー 第9回「金融関連及び法」と「生活支援」 ◇レクチャー、話題提供 ・問題提起 田中康夫（東京大学） ・「ALP 構想に寄せる想い」～相談援助の現場から～山崎 宏（想い人） https://www.omohibito.com/team ・「郵便局の終活日和（終活紹介サービス）の取り組み」 https://www.post.japanpost.jp/life/inheriting/pdf/pamphlet.pdf ・「仁淀川町の取組紹介」～ ころづもりノートの活用でシニアの Well-Being を実現する ～ 小松 仁視（フレイルサポート仁淀川） ◇パネルディスカッション、総合討論 テーマ『実効性の高い ALP の組立』～シニアのための ALP の仕組みとそれを如何に実践していただくには～ アカデミー 第10回「まちづくり」と「在宅医療・介護」 ◇レクチャー・話題提供 ・「在宅医療サービスの現状と課題」森川 悦明（フォルクモア） ・「在宅介護サービスと施設介護サービス」吉田 肇（高齢者住宅協会） ・「利用者視点からの地域包括ケアシステムの課題と備えの仕掛け」金子 萌（想い人） ・「制度と個人をつなぐ 地域福祉コーディネーターの役割」浦田 愛（文京区） ◇パネルディスカッション テーマ『それぞれの関係者から見る地域包括ケアシステムのありべき姿について』	企業雑談交流活動 ◇混合介護 保険外サービス懇話会
2月	全体ミーティング ◇目的：大きな二つの政策に関して学び、自らが自分事（自仕事）として具体的にどう行動すれば良いのかについて考える ◇第1部 それぞれの政策を知る 高齢社会対策大綱の意図 飯島 勝矢（東京大学） 住生活基本計画見直しの論点（動画）大月 敏雄（東京大学） ◇総合討論その1 それぞれの政策から見た高齢社会の重要な課題～私はこう読み解く、ここが重点だと思う～ ◇総合討論その2 実際に政策を具体的に実現するのは、自治体であり企業である ～ 私だったらこの課題にこう取り組む～	アカデミー 第11回「ジェロンテクノロジー」 ◇問題提起 事務局 事前課題（アンケート）結果のご紹介を含めて ◇話題提供と課題解決の視点 技術分野からの視点 内藤 昌宏（京セラ） 介護事業者からの視点 福元 均（ALP ジャパン） 森川 悦明（元高齢者住宅経営者連絡協議会） ◇総合討論 テーマ『なぜ進まぬ DX 化』～ DX 化によって見える社会は～	豊かな健康を個と地域のウェルビーイングから考えるサロン ◇対話テーマ：「子供からシニアまで誰もが心地よく過ごせる”居場所”について」～ Well-being の視点から”まち”と”ひと”のつながりを軸に考えてみる!～ ライフデザインサロン ◇対話テーマ：「人生が豊かになる個人的人脈の創り方、つきあい方」について 移動分科会サロン ◇対話テーマ：ユーザーオリエンティドな未来の地域交通とまちづくり
3月		2024 年度総括会 ◇サロン、アカデミー等開催状況報告 事務局 ・サロンの活動報告 ・アカデミーの活動報告 ※それぞれ活動実績については資料を作成し事前配布 ・2025 年度サロン、アカデミーの活動方針（案） ◇共同研究会活動の進展 辻哲夫（東京大学） 神谷 哲朗（東京大学） ・食の在り方研究会（オーラルフレイル予防研究会含む）⇒フレイル予防推進会議と新たな企業との連携の動きについて ・その他の研究会の活動報告（2024年度の活動と次年度に向けて） ・高齢者地域就労研究準備会 ・金融関連及び法勉強会 ・その他の研究会等の活動 ◇質疑・総合討論 テーマ 東大 IOG 産学連携プロジェクトの在り方について 主な論点・2025年に何をを目指すか。 ・フェイズ2を終えるにあたり我々は何を社会に残すのか？ 東大 IOG 発…（学び、社会実装、ニュービジネス、政策提言、社会貢献、等）	ライフデザインサロン ◇対話テーマ：「＜貢献＞のイメージは？」について 企業雑談交流活動 ◇しあわせと心のフレイル予防について ◇混合介護 保険外サービス懇話会

※個別研究会は各々開催



企業雑談交流活動 1 月
混合介護 保険外サービス懇話会



移動分科会 2 月
議論風景



全体会 2 月
ディスカッション風